

黙示録 5 章「天の御座でヨハネが見たまぼろし」

5:1 また、私は、御座にすわっておられる方の右の手に巻き物があるのを見た。それは内側にも外側にも文字が書きしるされ、七つの封印で封じられていた。5:2 また私は、ひとりの強い御使いが、大声でふれ広めて、「巻き物を開いて、封印を解くのにふさわしい者はだれか」と言っているのを見た。5:3 しかし、天にも、地にも、地の下にも、だれひとりその巻き物を開くことのできる者はなく、見ることのできる者もいなかった。5:4 巻き物を開くのに、見るのに、ふさわしい者がだれも見つからなかった。5:5 すると、長老のひとりが、私に言った。「泣いてはいけない。見なさい。ユダ族から出た獅子、ダビデの根が勝利を得たので、その巻き物を開いて、七つの封印を解くことができます。」5:6 さらに私は、御座——そこには、四つの生き物がいる——と、長老たちとの間に、ほふられたと見える小羊が立っているのを見た。これに七つの角と七つの目があった。その目は、全世界に遣わされた神の七つの御霊である。5:7 小羊は近づいて、御座にすわる方の右の手から、巻き物を受け取った。5:8 彼が巻き物を受け取ったとき、四つの生き物と二十四人の長老は、おのおの、立琴と、香のいっぱい入った金の鉢とを持って、小羊の前にひれ伏した。この香は聖徒たちの祈りである。5:9 彼らは、新しい歌を歌って言った。「あなたは、巻き物を受け取って、その封印を解くのにふさわしい方です。あなたは、ほふられて、その血により、あらゆる部族、国語、民族、国民の中から、神のために人々を贖い、5:10 私たちの神のために、この人々を王国とし、祭司とされました。彼らは地上を治めるのです。」5:11 また私は見た。私は、御座と生き物と長老たちとの回りに、多くの御使いたちの声を聞いた。その数は万の幾万倍、千の幾千倍であった。5:12 彼らは大声で言った。「ほふられた小羊は、力と、富と、知恵と、勢いと、誉れと、栄光と、賛美を受けるにふさわしい方です。」5:13 また私は、天と地と、地の下と、海の上のあらゆる造られたもの、およびその中にある生き物がこう言うのを聞いた。「御座にすわる方と、小羊とに、賛美と誉れと栄光と力が永遠にあるように。」5:14 また、四つの生き物はアーメンと言い、長老たちはひれ伏して拝んだ。

導入

ヨハネは天の御座で他に何を見たでしょうか。

御座にすわって、右手に巻物を持っている人を見ました。

その巻物には、内側にも外側にも文字が書かれていました。

そして、7つの封印で封じられていました。

先週の個所は御座に注目しましたが、今日の個所はこの巻物に注目しています。

このような巻物は当時の中東では一般的で、皇帝ネロの時代からローマ帝国でも使われていました。

ヨハネが黙示録を記した時代、あらゆる契約書は内側に契約内容が記され、7つの封印で封じられました。

そして、外側に契約内容の要約が記されました。

婚姻の誓約書、奴隷の解放証明、賃借契約など、あらゆる種類の契約書類がこの方法で交わされました。

しかし、この巻物にもっとも近いヘブル語の書類は権利証書です。その根拠は、エレミヤ 32 : 8-11 にあります。

32:8 すると、【主】のことばのとおり、おじの子ハナムエルが私のところ、監視の庭に来て、私に言った。『どうか、ベニヤミンの地のアナトテにある私の畑を買ってください。あなたには所有権もあり、買い戻す権利もありますから、あなたが買い取ってください。』私は、それが【主】のことばであると知った。32:9 そこで私は、おじの子ハナムエルから、アナトテにある畑を買い取り、彼に銀十七シケルを払った。32:10 すなわち、証書に署名し、それに封印し、証人を立て、はかりで銀を量り、32:11 命令と規則に従って、封印された購入証書と、封印のない証書を取り、

ヨハネが神の御手の中にあるのを見た巻物は地球全体の権利証書であり、神はそれをイエス・キリストに渡そうとしておられました。

一般的な権利証書には、購入した不動産の詳細が記されていますが、この権利証書には、イエスが受けるべきものをふたたび手にする過程が記されていました。

イエスは地上に注がれる「神の裁き」をとおして、受けるべきものを取り戻されるのです。巻物に記されているのは、呪いや裁きについてばかりですが、これは贖いの巻物でもあるのです。イエスがどのようにしてこの世をサタンから贖ってくださるかが記されています。

神が巻物を持っておられるということは、神の教えとみこころがすでに固まっているということです。私たちがどのように黙示録を解釈しようと、それが神の考えを変えることはありません。

詩篇の著者は言いました。「【主】よ。あなたのことばは、とこしえから、天において定まっています。」（詩篇 119 : 89）

宣教師であり聖書説教者のマーク・ローザー博士は妻のパットについて次のように話します。パットは、自分の運命についての夢を見ました。その夢の中で、パットは祈ってもらうために列に並んでいました。彼女の前に並んでいた女性はとても魅力的な人で、大きな祝福を受けました。その女性の順番が終わって、次はパットの番です。顔を上げて、誰が祈ってくれているのか見ると、それはイエスでした。イエスの頬には涙が流れています。イエスは右手に巻物を持っておられました。言葉はなくても、パットはイエスの思いがわかりました。

「娘よ、私があなたのために備えているものがどれほどのものかあなたに分かったなら…」パットは、それが巻物の中に記されていることを悟り、イエスが彼女のために備えてくださったものを受け取るためにはイエスだけを見つめているべきであると気づきました。

その夢は神学的にどうかと考えました。これは正しいのでしょうか。間違っているのでしょうか。夢のすべてが神からのものとは限りません。するとエペソ 2 : 10 のみことばが思い浮かびました。「私たちは神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行いに歩むように、その良い行いをもあらかじめ備えてくださったのです。」マーク・ローザー

聖書は、神が良いものを私たちのために備えてくださったと語ります。ですから、私たちはそれを受け取らなければなりません。

年齢も健康状態も関係ありません。神は常に、奉仕の祝福において次のステップを用意してくださっています。

問題は、私たちが神の次のステップを見出さなければならないことです。恐れずに信仰を持って踏み出し、歩んで行くことです。

私たちは、同じことの繰り返しに慣れてしまって、神に仕える上で次のステップは何か神に尋ねるのを怠ってしまうことがあります。

変化に対する抵抗は、なかなか克服できない課題のひとつです。奉仕がうまくいっていないなら、他に何をすべきか神に尋ね求める必要があります。

私自身、3年前にそう神に尋ねなければならませんでした。そのとき、神は、「他にもすべきことがある」と答えてくださいました。

そして、日本に戻って大阪インターナショナルチャーチの牧師になることを示してくださいました。神は私たち一人ひとりにすべきことを備えてくださっています。問題は、私たちが神のご計画に自らの人生をゆだねるかどうかです。

あなたは今日、神にゆだねようと思えますか。

では、今朝のみことばから神が教えてくださることを学んでいきましょう。

5章は3つの部分に分けることができます。

1. ふさわしい者を探す (2-4 節)

名前は明かされていませんが、ひとりの強い御使いが「巻き物を開いて、封印を解くのにふさわしい者はだれか」と大声で叫びました。

つまり、聖い品性を持ち、この封印を解く資格のある者は誰かと言っているわけです。

サタンに打ち勝つ力は誰にあるのでしょうか。罪と罪のもたらす影響を拭い去り、すべての被造物に対する呪いを取り消す力があるのは誰でしょうか。

3 節は、天にも地にも地の下にも、巻物を開くどころか見ることもできる人がいなかったと語ります。

地獄から天国まで全宇宙を探しても、巻物を開くのにふさわしい者を見つけることはできなかったのです。アブラハム、イサク、ヤコブ、ヨセフ、ヨブ、モーセ、ダビデ、ソロモン、エリヤ、エリシャなど偉大な預言者たちでさえ、ふさわしい者ではありませんでした。

4 節で、ヨハネは激しく泣きました。巻物を開けたり見たりするのにふさわしい人が見つからなかったからです。また、悪と罪と死が滅ぼされた世を見たいと願ったからです。

ヨハネの涙は歴史上のすべての神の民の涙を象徴していると、ある聖書注解者は語ります。

エデンの園を追放されたアダムとエバの涙、エジプトで奴隷となり神に叫んだイスラエルの民の涙。英国のブラッドフォードでも今週涙が流されました。キリスト教に改宗した元イスラム教徒は、本人と家族の身の安全のために武装警察隊の保護のもと、家を離れなければなりません。彼らはヨークシャー州から離れ、安全な場所へ移り住みました。

ヨハネは誠実な気持ちで涙を流していましたが、それは時期尚早でした。「ふさわしい者」を探すのはまだ終わっていなかったからです。

スウェイトという聖書注解者は次のように述べています。

「ヨハネは泣きましたが、それは不必要な涙でした。人間の悲しみは、往々にして、無知から来るものです。待つ忍耐と信仰さえあれば、私たちが涙するような状況にも、神の解決策がもたらされるのがわかるでしょう。」

この場面のヨハネの状況はまさにそのとおりでした。私たちにも同じことがあてはまる場合があります。私たちの置かれた状況に神が働いてくださるのを忍耐して待てばよいのです。

2. ふさわしい者を選ぶ (5-8 節)

長老のひとりヨハネに「泣いてはいけない」と言いました。そして、新たな登場人物について語ります。その人は、救い主に与えられた呼び名のふたつで表現されています。

1. ユダ族から出た獅子
2. ダビデの根

ユダ族から出た獅子は、創世記 49 : 8-10 と関連しています。

49:8 ユダよ。兄弟たちはあなたをたたえ、あなたの手は敵のうなじの上であり、あなたの父の子らはあなたを伏し拝む。 49:9 ユダは獅子の子。わが子よ。あなたは獲物によって成長する。雄獅子のように、また雌獅子のように、彼はうずくまり、身を伏せる。だれがこれを起こすことができようか。 49:10 王権はユダを離れず、統治者の杖はその足の間を離れることはない。ついにはシロが来て、国々の民は彼に従う。

この箇所は、ヤコブが息子たちに残した最期の言葉です。

ここでヤコブは、ユダ族について預言しています。

1. ユダが指導的立場の一族となるとヤコブは言います。実現したのは 640 年後でしたが、そのとおりになりました。
2. 創世記 49:10

49:10 王権はユダを離れず、統治者の杖はその足の間を離れることはない。ついにはシロが来て、国々の民は彼に従う。

ここにある杖とは、支配者の象徴です。
統治者とは法令を發布する者であり、シロとは平安をもたらす者を指します。
ですから、わかりやすく言い換えると次のようになります。

平安をもたらす者が来るまでは、ユダが指導的立場を取る一族です。

そして、そのとおりになりました。イエスが「平和の君」として地上に来られるまで、ユダは指導的立場を保ちました。

ユダヤ人は獅子を求めましたが、神は小羊をお与えになりました。
獅子が来る前にまず小羊が来る必要があったからです。
しかし、ほふられた小羊であるイエスがこの世に来られた今、小羊を拒んだ世の中に対処するために吠える獅子がやってきます。
黙示録に記された裁きは、獅子なるイエスの雄叫びです。

イエスの救い主としての称号のふたつめはダビデの根です。
イエスはユダヤ人の王の子孫です。王は王国を支配する力を持ちます。そしてイエスは、獅子がジャングルを支配するように国々を支配されるのです。

王なる獅子は巻物を開くのにふさわしいお方です。

ヨハネはイエスのふたつの称号を記した後、あることを指摘します。
彼は、「ほふられたと見える小羊が立っているのを見た。これに七つの角と七つの目があった。その目は、全世界に遣わされた神の七つの御霊である。」と語ります。
ここに注目すべき3つの事柄が記されています。

まず、小羊は殺されたように見えたという点です。そこには、死んだ形跡が見えたわけです。
これによって、ヨハネは、彼自身や私たちの罪のために十字架で死んでくださったイエスと同じ方であることを思い起こせました。
そうです。今、天におられるイエスと、いつの日かこの世を裁かれるイエスは同じお方です。

7つの角はイエスの力を示します。

申命記 33:17 彼の牛の初子には威厳があり、その角は野牛の角。これをもって地の果て果てまで、国々の民をことごとく突き倒して行く。このような者がエフライムに幾万、このような者がマナセに幾千もいる。

モーセは神の力を十分心得て、イスラエルの上に神の祝福を最期に祈りました。

7つの角は尊厳の象徴でもあります。

詩篇 89:17 あなたが彼らの力の光栄であり、あなたのご恩寵によって、私たちの角が高く上げられているからです。

詩篇 148:14 主は、その民の角を上げられた。主のすべての聖徒たち、主の近くにいる民、イスラエルの子らの賛美を。ハレルヤ。

また、小羊には7つの目があったとも記されています。
そして、それらは全世界に遣わされた神の7つの御霊だとあります。
この描写は、預言者ゼカリヤの言葉の引用です。

ゼカリヤ 4:10 だれが、その日を小さな事としてさげすんだのか。これらは、ゼルバベルの手にある下げ振りを見て喜ぼう。これらの七つは、全地を巡る【主】の目である。

これらの描写は、神が全知であられることを明確に教えます。神は地上のすべての出来事をご存じです。

この地上ですべてをあらわにする神の光の当たらない場所はありません。

罪を隠す場所はどこにもありません。唯一の覆いはイエスの血です。

あなたは隠れようとしていますか。それとも、イエスの血に覆われて安全でしょうか。

聖書には、イエスの威厳と柔和さが示されています。

イエスの謙虚さは、私たちのためにほふられた小羊として示されます。

そして、復活したイエスの栄光は、地上の指導者およびすべての人々の反逆に対処する強い獅子として示されています。

3. ふさわしいお方への賛美 (9-14 節)

4つの生き物と長老たちは「新しい歌」を歌っていました。

「新しい歌」という言い回しは、詩篇に頻繁に登場します。それは、神の新たなあわれみを歌う賛美です。

詩篇 33 : 3 は「新しい歌を主に向かって歌え。」と語ります。

詩篇 40 : 1-3

40:1 私は切なる思いで【主】を待ち望んだ。主は私のほうに身を傾け、私の叫びを聞き、40:2 私を滅びの穴から、泥沼から、引き上げてくださった。そして私の足を巖の上に置き、私の歩みを確かにされた。40:3 主は、私の口に、新しい歌、われらの神への賛美を授けられた。多くの者は見、そして恐れ、【主】に信頼しよう。

詩篇 98:1 新しい歌を【主】に歌え。主は、奇しいわざをなされた。その右の御手と、その聖なる御腕とが、主に勝利をもたらしたのだ。

新しい歌とは、つねに神の新たなあわれみを歌う賛美です。

黙示録の特徴のひとつに、新しい物事の書であることが挙げられます。

1. 新しい名(2:17, 3:12)
2. 新しいエルサレム (3:12, 21:2)
3. 新しい天と新しい地 (21:1)
4. 神がすべてを新しくするという約束 (21:5)

そして、新しい歌があります。

ここで注目すべき重要ポイントは「新しい」と訳されたギリシャ語の単語です。

ギリシャ語には新しいを指す単語がふたつあります。「ネオス」は時間的な新しさを指します。

一方、もうひとつの単語「カイノス」は、質的な新しさを指します。

つまり、「カイノス」は、最近でただけでなく、これまでには存在しなかったことを意味します。

その意味するところは、イエス・キリストがこれまでになかったものを人生にもたらしてくださるということです。新しい喜び、新しい高揚感、新しい力、新しい平安などがそうです。

9-10 節に登場する歌には、イエスを賛美する理由が挙げられています。

1. ほふられた。 (殺された) —ヘブル語の意味は、「引っ張られる」です。イエスはいけにえとして十字架の上に引っ張りつけられました。イエスが犠牲を払った目的は、神と人との失われた関係を取り戻すためです。これこそ、イエスがほふられた理由です。

2. 私たちが神のものとして贖われた。 —新約聖書には、イエスが解放者であるという思想があふれています。イエスはご自身のいのちを代価として与えられました。（マルコ 10：45）すべての人の贖いの代価となりました。（テモテ第一 2：6）私たちが律法の呪いから贖いだしてくださいました。（ガラテヤ 3：13）私たちは、代価を払って買い取られたのです。（コリント第一 6：20）
3. イエスの死は、全世界に関係するものである。 —イエスのうちに、すべての国民、部族、民族、国語の人々の神がいます。この神は、全世界を愛してくださいます。ですから、私たちはこのお方について世に知らせなければなりません。
4. イエスの死によって、私たちは、王であり祭司とされた。 —ネストレ・アーラントのギリシャ語聖書では、王ではなく王国という単語が使われています。私たちは確かに王国を持っています。そして、神とつながっているという意味で、「祭司」でもあります。
5. イエスの死が私たちに「勝利」をもたらす。 —「地上を治めるのです。」
現在、クリスチャンは世界中で迫害に遭っていますが、いつの日か、クリスチャンがイエス・キリストとともに地上を治める時がやってきます。
イエスの再臨に関する解釈はさまざまですが、私たちがいつの日かイエスとともに地上を治めるといふ部分は否定できません。
この預言と宣言をいただいていることを神に感謝します。
（テモテ第二 2：12 「もし耐え忍んでいるなら、彼とともに治めるようになる。」）

適用

世界中で人は何かを崇めます。

私たちは崇めるように造られているので、イエスを崇めなければ、別の人や物を崇めるようになります。

皆さんの中でも、クリスチャンになる前は別の何かを拝んでいた人もいるでしょう。

北朝鮮では、国家元首が崇められています。

北朝鮮では、多くの人が貧しく、餓死寸前の状態です。また、クリスチャンは信仰のために強制収容所に送られます。

人々は独裁者を崇めています。このことはイエス・キリストによっていつの日か裁かれます。

俳優やミュージシャンを神のように崇める人もいますが、その人たちも、死んだらイエスによって裁かれます。

イエスだけが、賛美と礼拝にふさわしいお方です。そして、私たちのいのちをささげるのにふさわしいお方です。

イエスはサタンに勝利し、十字架上で私たちのために死んでくださいました。イエスは私たちに未来の新しいいのちを備えてくださいました。そのいのちには、罪も病気も涙もありません。

あなたはもう、イエスに自分のいのちを捧げましたか。そうすれば、永遠にイエスを賛美できます。

今日、そうするチャンスがあります。

今日、イエスについていく者となれるよう、助けを求めましょう。

アーメン。